

示或煖三系本

記

一十二十三

齊一之通

以治三十四年 山口 九月九日

阿部大長



本乃多様此用

記

一 金五把錢中

但方板大根持共念花

右正二請取候也

嘉川驛

明治卅
把月七年

日

氏永運送店



本右源三郎殿

託

上原沙依

右之字ありしを

奉還しりしを

中村島三



中村島三

記

一上平年生年儀

紅河

紅河三年正月十日

立據之凡方下

右可領收并也

三月十日

山崎長年



本回原三申儀

九十九の九十九の九十九

（九十九の九十九）

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

九十九の九十九

氣收黃

一合矣振三

志株

是八坡宮保高合氣明活矣振四奇度

分也

右正氣收申

蘇門村勇八匹

以日三指四奇振五二日

扣高少平次



本乃大介様

題此

下屋

其の辨は

八博宮保

有之

此は

松

本

三



領收書

一米八張

一金五圓 本問書一紙

一帳箱壹個 帳簿在串

右心受取申 啓

明治廿九年七月九日

本寫 大介

本問源三郎様

領收證

金九拾圓也

由加調米賣拾張壹拂代金上三

右之金額正領收候也

明治三十四年三月三十一日

本間大舟



本間源三郎様

證

一金四拾四田五拾錢也

旧加調米内拾俵賣具拵代金とて

右、金額正領收仕候也

明治三十五年三月三十一日

本間大介

本間源三郎様

證

一金七拾八円六錢九厘也

但之之、前、鐵道会社、土地賣渡、殘金、

明治三十四年二月六日、領收仕候

一金拾六円九拾七錢貳厘也

但之之、田畑加調、金山、枝落、柴、花、不、代、金、

明治三十四年二月廿六日、領收仕候

合計金九拾四円六拾貳錢七厘也

右、通、正、領、收、仕、候、也

明治三十四年三月二日

本間大介

本間源三郎様

記

一金老田七拾五石也

積業報書

二十五年代

一金老田也

石進送料

斗金

老田七拾五石也

右之通ニ御座候間御拂渡被下度奉願候也

山口町大字後河原

明治卅九年九月二日

防長新聞合資會社



本間源三郎様